

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2022年11月11日

**【四半期会計期間】** 第201期第2四半期(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

**【会社名】** 古河電気工業株式会社

**【英訳名】** Furukawa Electric Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 小林 敬一

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区大手町二丁目6番4号

**【電話番号】** 東京(03)6281局8500

**【事務連絡者氏名】** 財務本部 経理部 経理統括課長 佐野 周

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載  
E01332)

( 財政状態の分析 )



### 第3 【提出会社の状況】

1

(5) 【大株主の状況】

2022年9月30日現在

4 . 2022年 8 月 4 日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、2022年 7 月29日現在で以下のとおり株



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2022年7月1日から2022年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

E01332)



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

The table content is redacted with light blue bars. It appears to be a financial statement table with multiple rows and columns. The redaction covers the entire data area of the table.









(追加情報)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2022年4月1日  
至 2022年9月30日)

1. グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用





(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当金支払額


(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日E01332)



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1 <鷺窪芥

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり四半期純利益	102円24銭	

(重要な後発事象)

(当社子会社株式に対する公開買付けへの応募)

当社は、2022年11月8日開催の取締役会において、The Carlyle Group(以下、「カーライル」という)に属す





E01332)

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期